

第3章 子ども・子育て家庭を取り巻く現状

第3章 子ども・子育て家庭を取り巻く現状

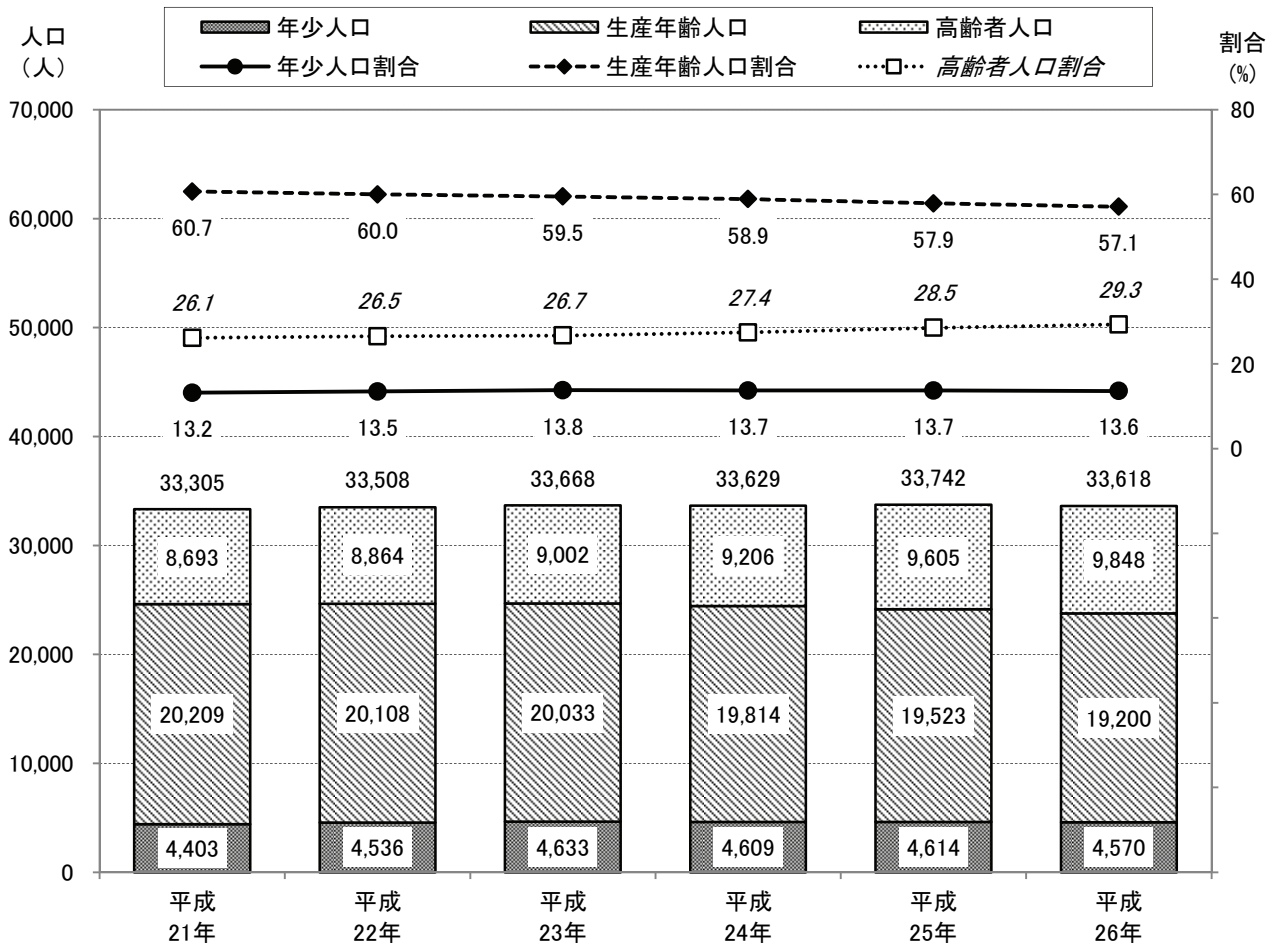
1 人口等の状況

(1) 人口

①人口の推移

本町の人口は平成26年4月1日現在で33,618人となっています。生産年齢人口割合が徐々に減少し、高齢者人口割合が増加する傾向にあります。

図表 総人口などの推移

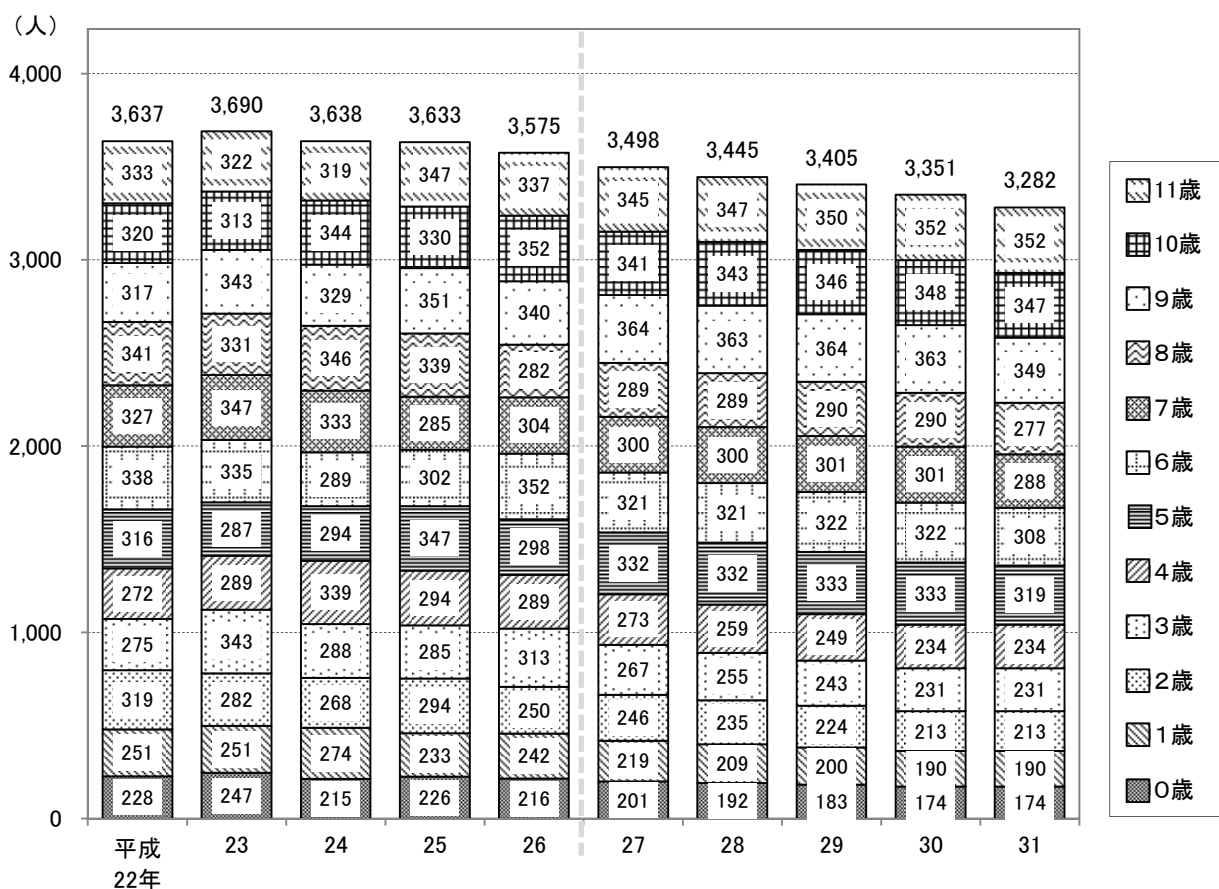


資料：葉山町住民基本台帳（外国人を含む）（各年4月1日現在）

②子どもの人口

子ども（11歳以下）の人口は平成23年以降減少傾向となっています。

図表 子どもの人口の推移（葉山町、0～11歳 1歳刻み）



図表 子どもの人口の推移（葉山町、0～11歳 5区分）

(人)

	平成22年	23	24	25	26	27	28	29	30	31
0歳	228	247	215	226	216	201	192	183	174	174
1、2歳	570	533	542	527	492	465	444	424	403	403
3～5歳	863	919	921	926	900	872	846	825	798	784
6～8歳	1,006	1,013	968	926	938	910	910	913	913	873
9～11歳	970	978	992	1,028	1,029	1,050	1,053	1,060	1,063	1,048
計	3,637	3,690	3,638	3,633	3,575	3,498	3,445	3,405	3,351	3,282

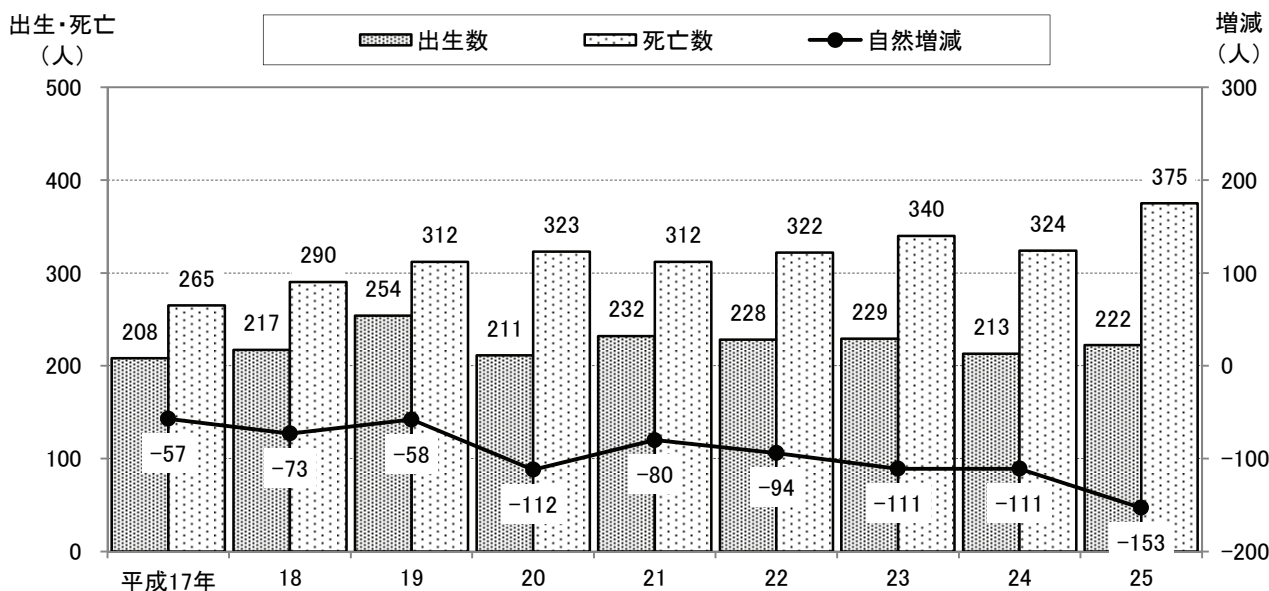
資料：平成26年までは葉山町住民基本台帳（外国人を含む）（各年4月1日現在）、平成27年以降は平成25年までの人口を基に推計

③人口動態

出生数と死亡数の推移では、死亡数が出生数を上回って推移しており、その差である自然増減は平成23年以降100人以上の減少となっています。

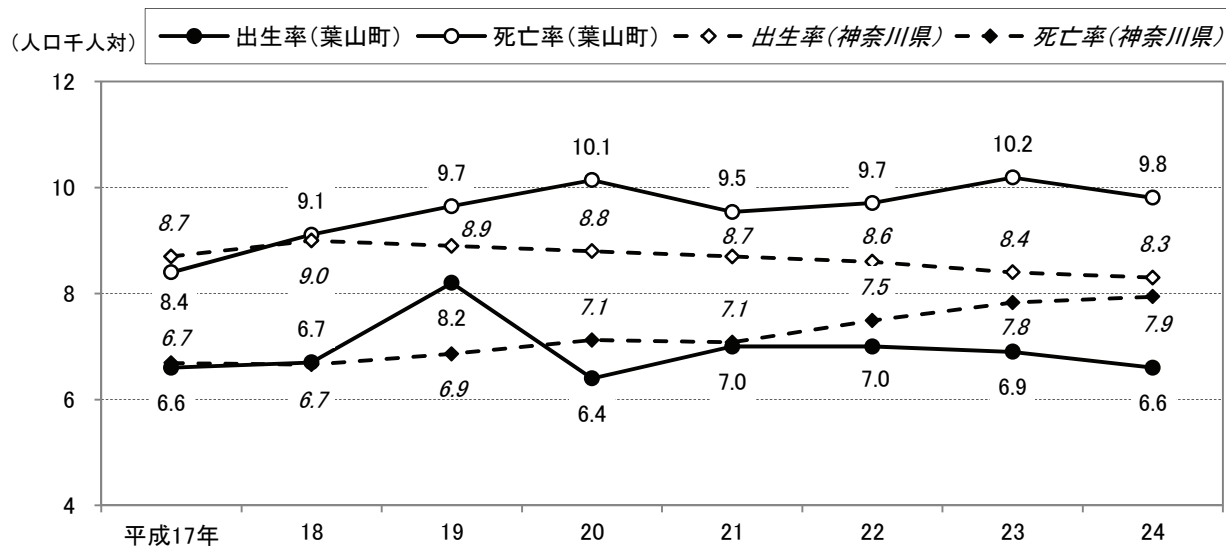
出生数と死亡数の推移では、出生率は県平均を下回って推移しています。一方、死亡率は県平均より2～3ポイント上回っています。

図表 人口動態の推移（葉山町）



資料：統計はやま

図表 出生率と死亡率の推移



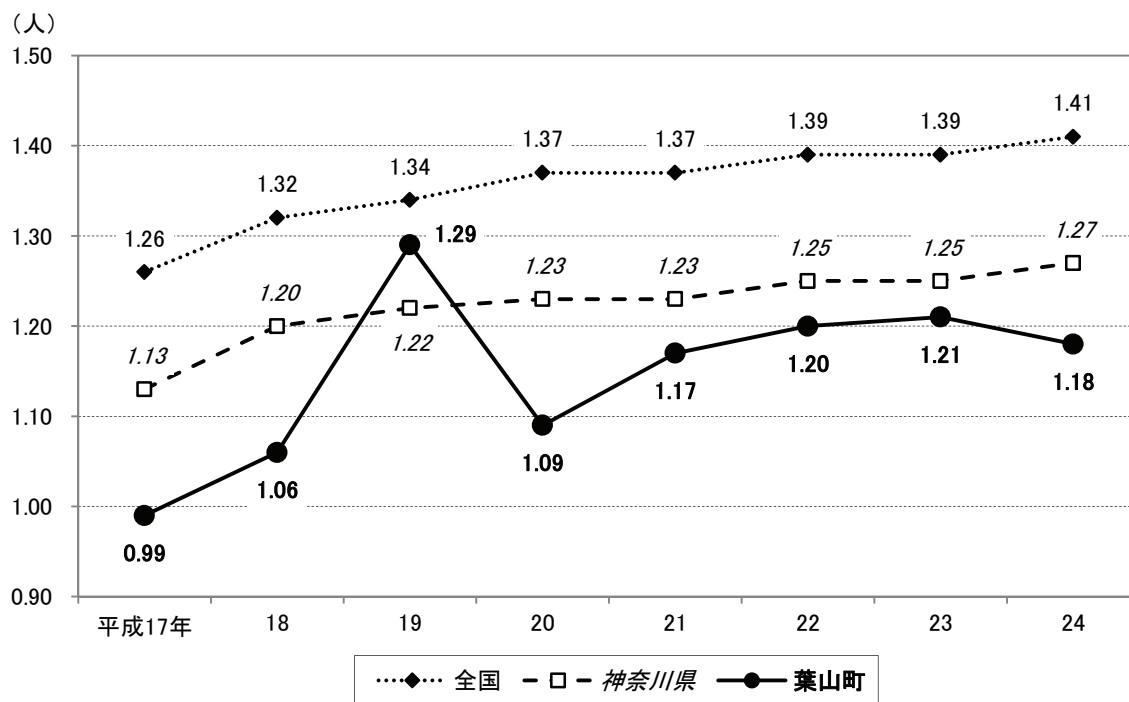
資料：神奈川県衛生統計年報（各年10月1日現在）

④合計特殊出生率

本町の合計特殊出生率は上下がありながらも平成20年以降上昇傾向にありましたが、平成24年は1.18であり、平成23年より低くなっています。

また、平成19年以外はいずれも全国、神奈川県を下回っています。

図表 合計特殊出生率

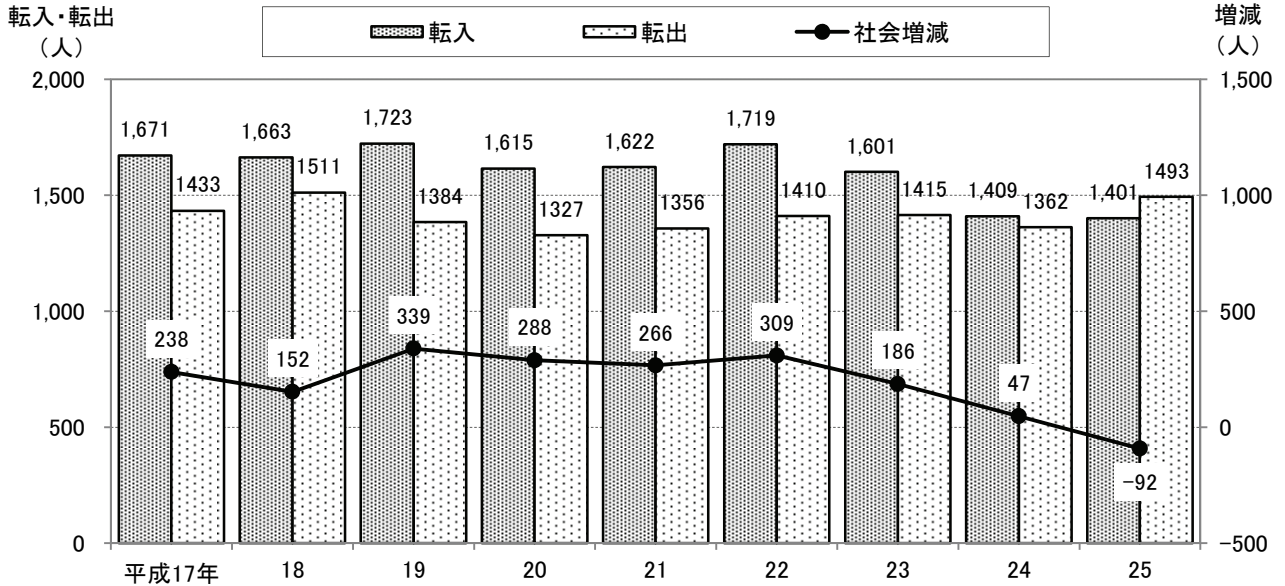


資料：厚生労働省 人口動態統計、神奈川県衛生統計年報

⑤社会動態

転入と転出の推移では、転入と転出の差である社会増減は、平成19年から平成22年まで300人前後の増加がみられましたが、平成23年から増加数が落ち込み、平成25年では減少に転じています。

図表 社会動態の推移（葉山町）



資料：統計はやま

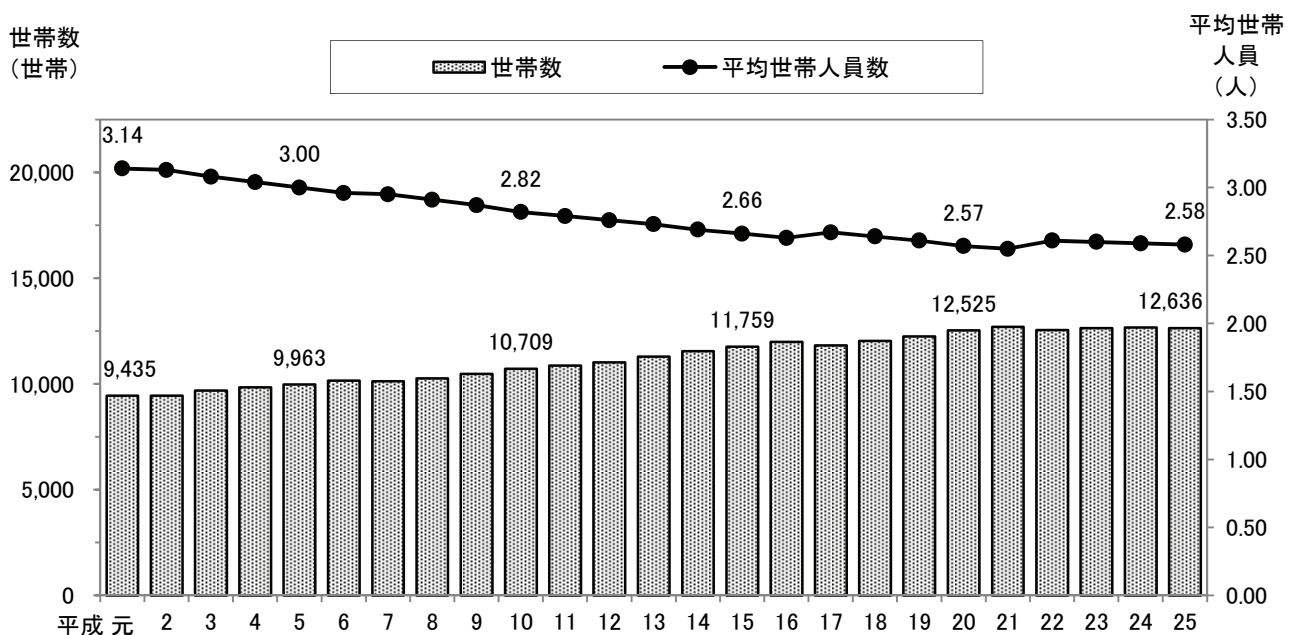
(2) 世帯

①世帯数と平均世帯人員

本町の世帯数は増加傾向にあり、平成25年10月1日現在では12,636世帯となっています。

1世帯あたりの平均世帯人員は減少傾向でしたが、平成20年頃から横這いとなっています。

図表 世帯数と平均世帯人員の推移（葉山町）



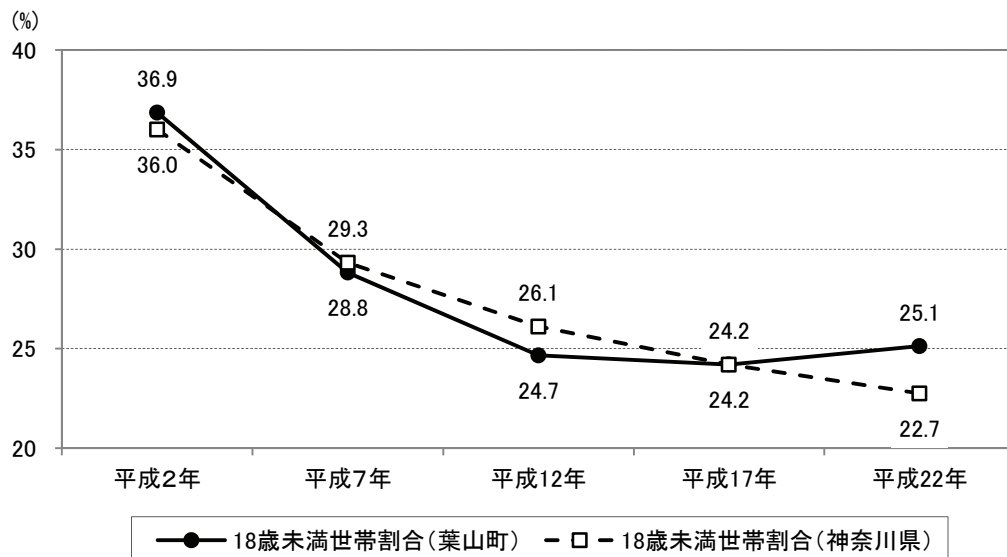
資料：統計はやま（各年10月1日現在）

②子どもがいる世帯

一般世帯に占める18歳未満の児童がいる世帯の割合は、県平均では減少傾向となっていますが、本町では平成22年に増加に転じ、県平均を2.4ポイント上回っています。

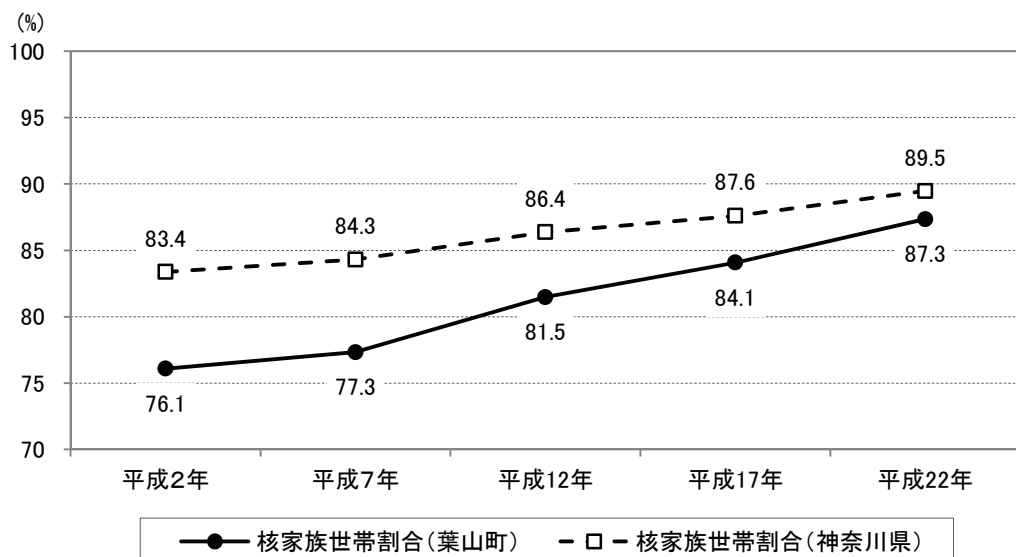
18歳未満の児童がいる世帯に占める核家族の割合は本町、県平均ともに増加傾向にあり、本町は県平均を下回って推移していますが、年々差は小さくなっています。

図表 一般世帯に占める18歳未満の児童がいる世帯割合



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

図表 18歳未満の児童のいる世帯数での核家族世帯割合

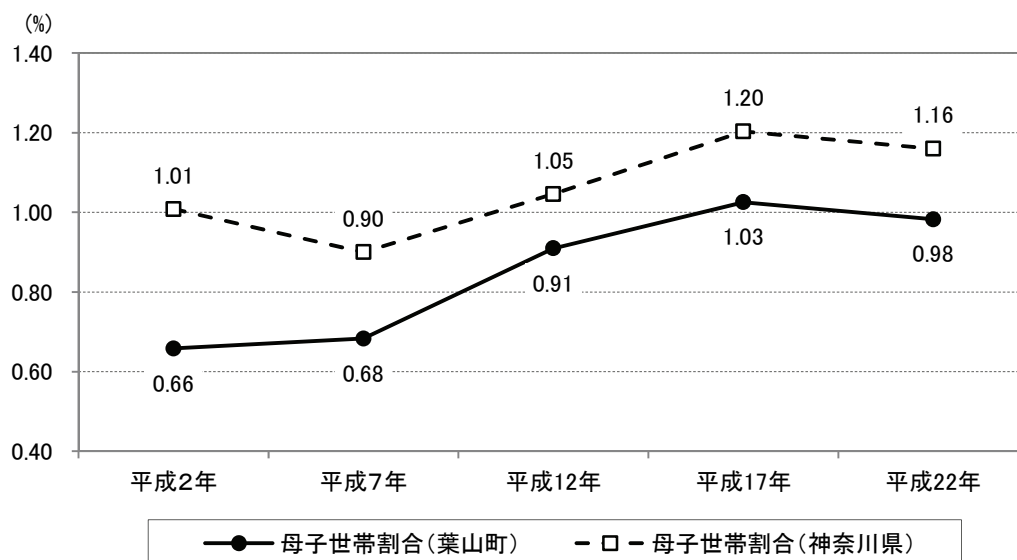


資料：国勢調査（各年10月1日現在）

③母子世帯・父子世帯

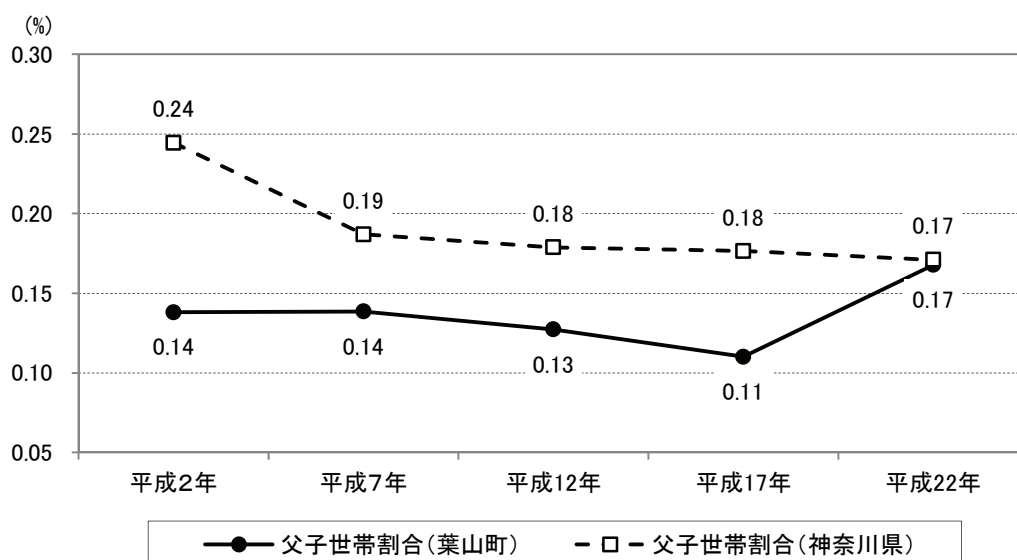
一般世帯数に占める20歳未満の子どもがいるひとり親世帯（母子世帯・父子世帯）の割合をみると、母子世帯では本町は県平均を下回っており、平成17年までは上昇傾向にありましたが、平成22年には減少しています。父子世帯は平成17年までは県平均を下回っていましたが、平成22年に増加し、県平均と同率となっています。

図表 一般世帯に占める20歳未満の子どもがいる母子世帯割合



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

図表 一般世帯に占める20歳未満の子どもがいる父子世帯割合



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

2 葉山町の子育て家庭を取り巻く現状

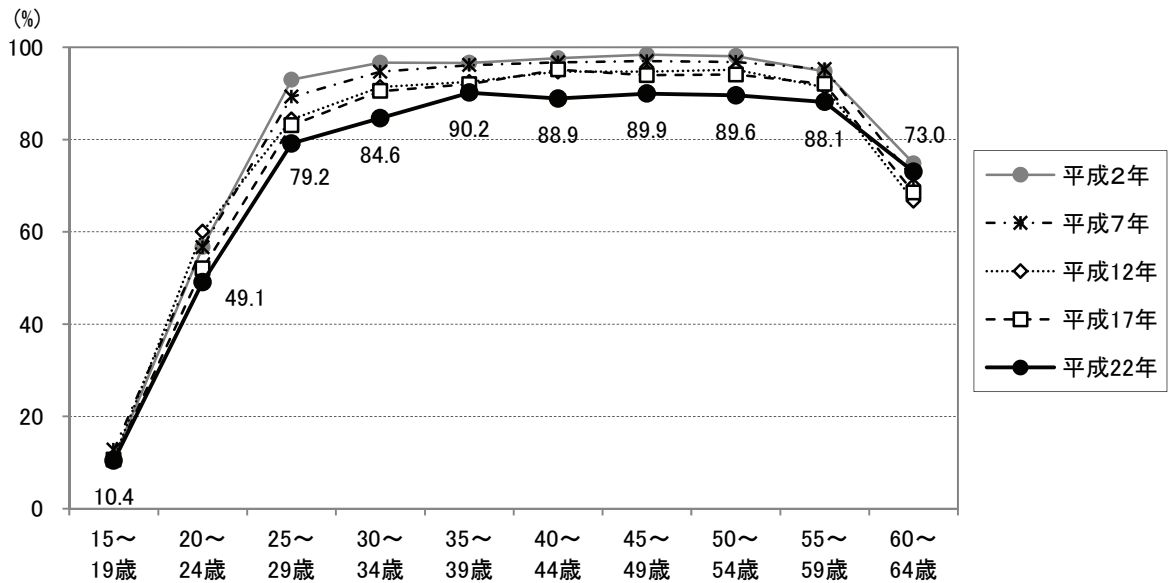
(1) 就労

① 就業率

男性の就業率は年ごとに低下傾向がみられ、平成22年は59歳以下で平成2年以来最低の割合となっています。

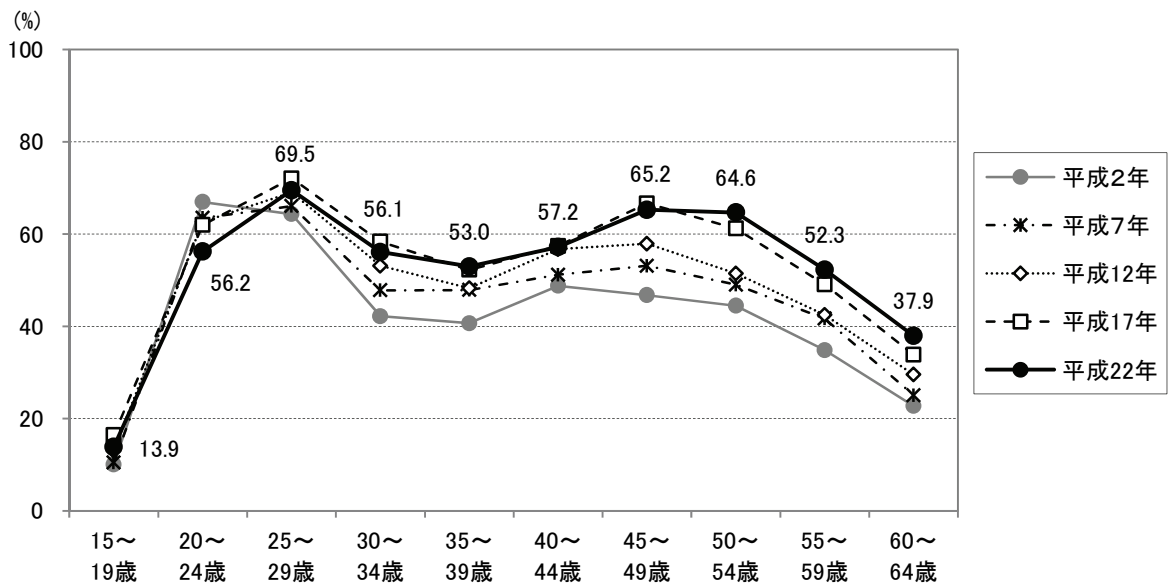
女性の就業率をみると、30代前後で就業率が下降するいわゆる「M字曲線」は、年々差が小さくなっていましたが、平成17年と平成22年では大きな変化がみられません。

図表 男性の就業率の推移（葉山町）



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

図表 女性の就業率の推移（葉山町）



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

②従業上の地位

15歳以上の就業者の従業上の地位をみると、男性は「正規の職員・従業員」が59.1%を占めています。女性は「正規の職員・従業員」は33.5%にとどまり、「パート・アルバイト・その他」が43.2%となっています。

図表 就業者の従業上の地位の割合（葉山町）

(%)

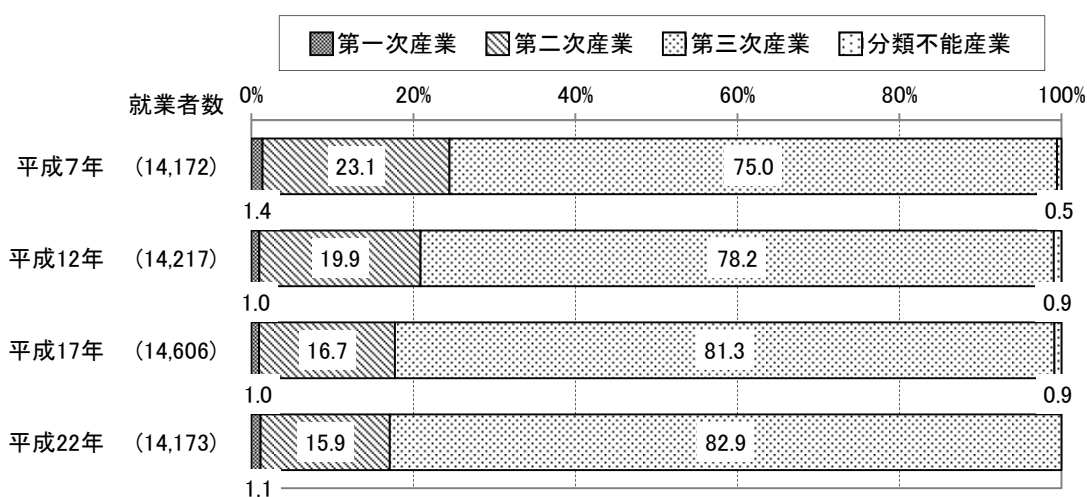
	15歳以上 就業者数 (人)	雇用者			役員	雇人の ある業主	雇人の ない業主	家族 従業者	家庭 内職者	不明
		正規の 職員・ 従業員	労働者 派遣 事業所の 派遣社員	パート・ア ルバイト・ その他						
男性	8,339	59.1	1.5	10.2	14.2	3.9	9.8	0.9	0.0	0.4
女性	5,834	33.5	4.0	43.2	6.1	1.3	5.3	6.1	0.1	0.4

資料：国勢調査（平成22年10月1日現在）

③産業別就業者割合

産業別就業者割合は、第二次産業就業者の割合が低下し、第三次産業就業者の割合が高くなっています。

図表 産業別就業者割合の推移（葉山町）



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

(2) 婚姻

①婚姻・離婚

婚姻件数は平成17年以降110件から150件台で推移しています。婚姻率は人口1,000人当たり3件から5件と、県平均を下回って推移しています。

離婚件数は平成21年までは50件から60件でしたが、平成23年以降は70件を超えています。離婚率は人口1,000人当たり1.6人から2.0人で推移しており、平成21年までは県平均を下回っていましたが、平成23年以降は県平均を上回っています。

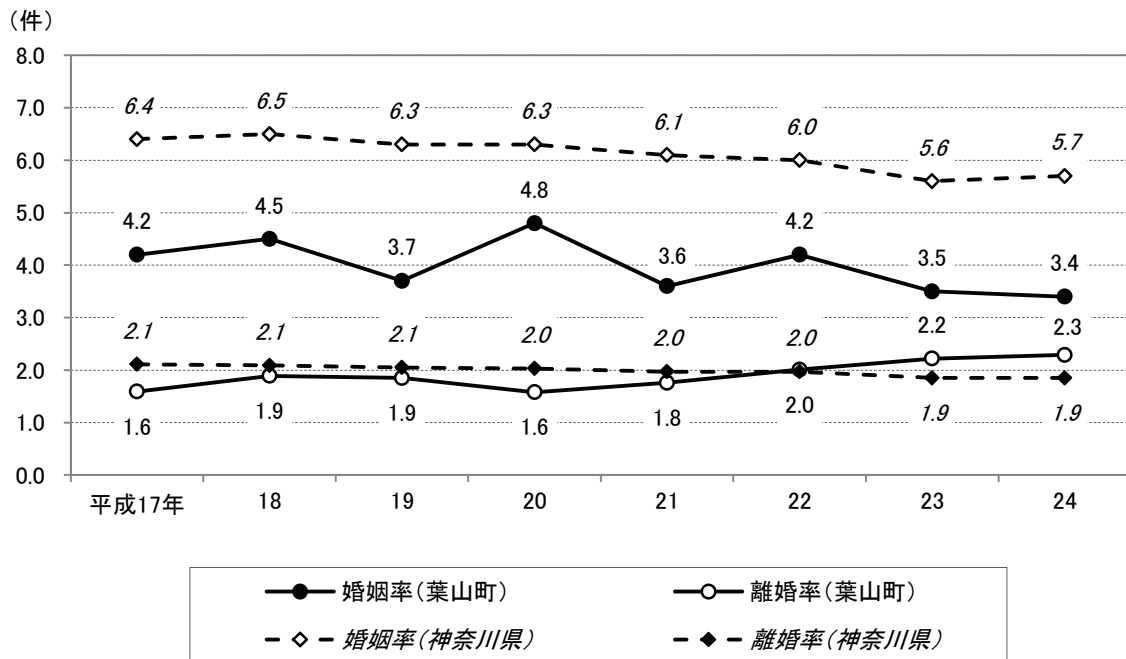
図表 婚姻・離婚件数（葉山町）

(件)

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
婚姻	133	143	119	155	118	138	116	111
離婚	50	60	59	51	57	66	73	75

資料：神奈川県衛生統計年報

図表 婚姻率・離婚率の推移（人口1,000人当たりの件数）

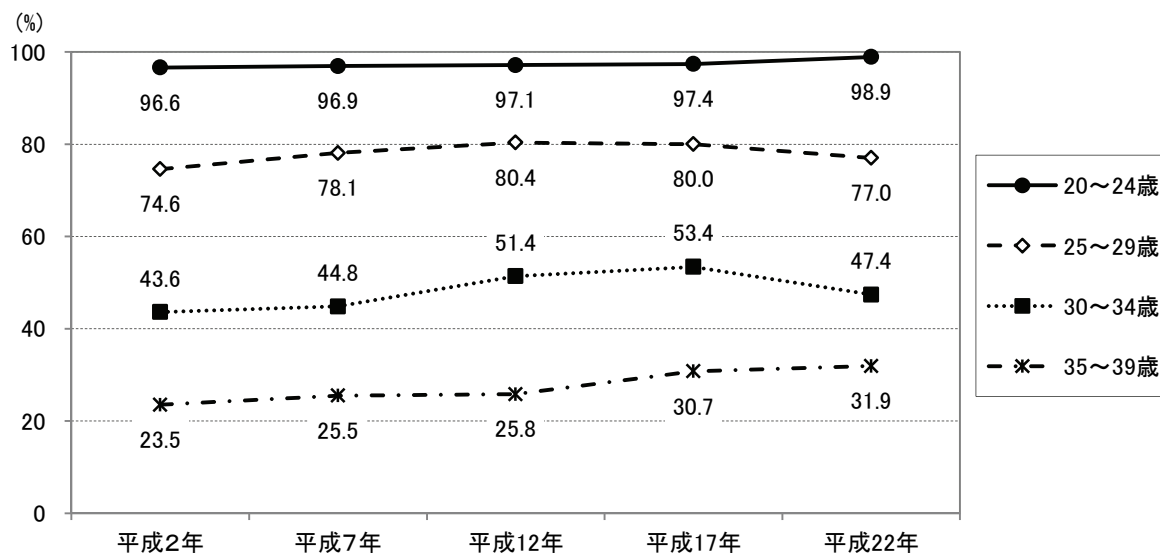


資料：神奈川県衛生統計年報

②未婚

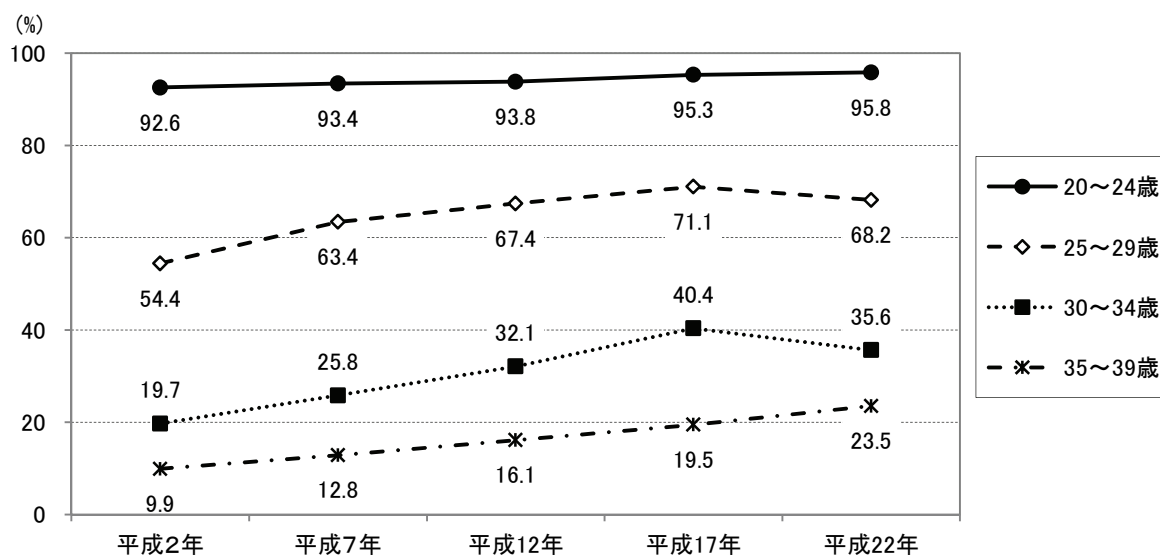
未婚率をみると、平成17年までは男女ともに全年齢で上昇傾向にあり、平成22年は25～29歳と30～34歳で平成17年よりも低くなっていますが、25～29歳女性の68.2%、30～34歳女性の35.6%が未婚となっています。

図表 未婚率の推移（男性・葉山町）



資料：国勢調査（平成22年10月1日現在）

図表 未婚率の推移（女性・葉山町）



資料：国勢調査（平成22年10月1日現在）

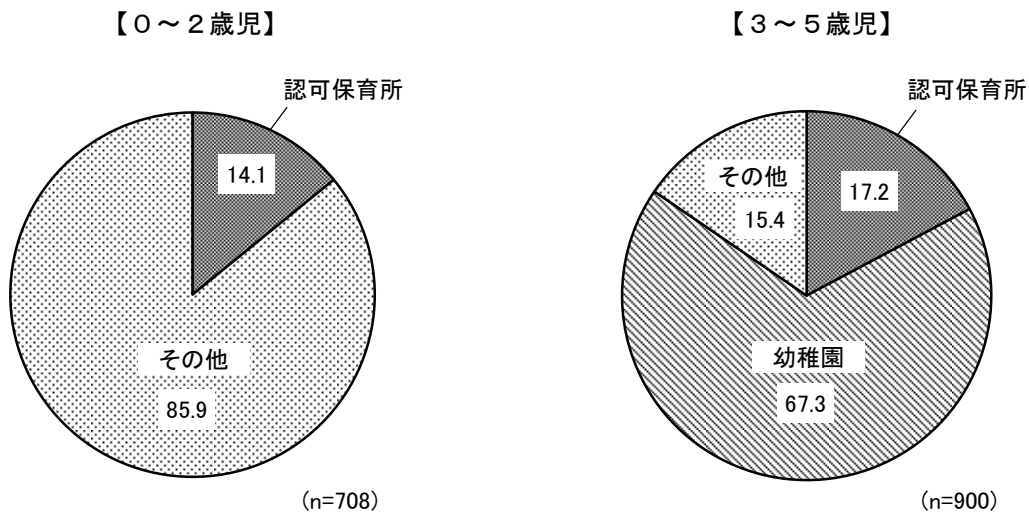
3 教育・保育サービス利用の現状

(1) 就学前児童の状況

葉山町の0～2歳児708人のうち、認可保育所に通っているのは100人で約14.1%を占めています。残りの608人は、認可外保育園等に通っている児童も含まれますが、ほとんどが在宅で過ごしていると考えられます。

3～5歳児900人のうち、認可保育所に通っているのは155人であり約17.2%を占め、町内・町外合計すると幼稚園に通っているのは606人であり約67.3%を占めています。

図表 就学前児童の状況



資料：人口は、葉山町住民基本台帳、外国人登録（平成26年4月1日現在）
※幼稚園は平成26年5月1日現在、認可保育所は平成26年4月1日現在

(2) 認可保育所

町内には2つの認可保育所（葉山保育園、葉山にこにこ保育園）があり、いずれも定員を上回る児童を受け入れています。

過去に既存の認可保育所の定員増を行いました。待機児童の解消には至っていません。待機児童の年齢別の内訳をみると、0～2歳児が多くなっています。

図表 認可保育所の定員および入所状況

(人)

	定員	入所者数(町内在住者)
葉山保育園	100	123
葉山にこにこ保育園	85	96
管外保育(他市町村)	-	36
合計	-	255

※平成26年4月現在

図表 保育所入所待機児童数の状況

(人)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
待機児童数	28	19	26	30	28

※各年4月1日時点

図表 待機児童の内訳

	待機人数(人)
0～2歳	25
3～5歳	3
計	28

※平成26年4月現在

(3) 幼稚園

町内には5つの私立幼稚園（あおぞら幼稚園、あけの星幼稚園、どれみ幼稚園、御国幼稚園、明照幼稚園）があります。

町内在住で町内の幼稚園に通っているのは530人です。

図表 葉山町内にある幼稚園の定員数および在園児数

(人)

	定員	在園児数	うち町内在住者数
あおぞら幼稚園	105	73	60
あけの星幼稚園	210	189	142
どれみ幼稚園	140	127	106
御国幼稚園	315	207	62
明照幼稚園	175	253	160
合 計	945	849	530

※平成26年5月現在

(4) 学童クラブ

町内に4つの公立の学童クラブがあり、利用希望者が急増しています。

課題としては、①預かり時間が短い、②おやつが持参である、③児童館との区別がつきにくい(指導員、スペース)などがあります。また、実施場所が児童館であるため、自宅が児童館から遠い人には利用しづらくなっています。

その他、町内に2つの民間学童クラブ(おひさま学童あおぞら、風の子クラブ)があります。

図表 学童クラブの定員と登録者数

(人)

実施場所	学童クラブ名	定員	登録者数 (平成25年度)	登録者数 (平成26年度)	増減
青少年会館	葉山学童クラブ	25	49	63	14
葉桜児童館	葉桜学童クラブ	25	23	34	11
下山口児童館	下山口学童クラブ	15	23	41	18
上山口児童館	上山口学童クラブ	25	8	6	-2
計		90	103	144	41

図表 民間学童クラブの定員と登録者数

(人)

学童クラブ名	定員	登録者数 (平成26年度)
おひさま学童あおぞら	24	26
風の子クラブ	20	30
計	44	56

※登録者数は小6まで含む数字

4 ニーズ調査からみた子育て家庭状況

平成25年度に、計画策定のために未就学児及び小学生を対象としたニーズ調査（回答者は保護者）を実施しました。その概要と結果は、次のとおりです。

（1）未就学児調査の概要

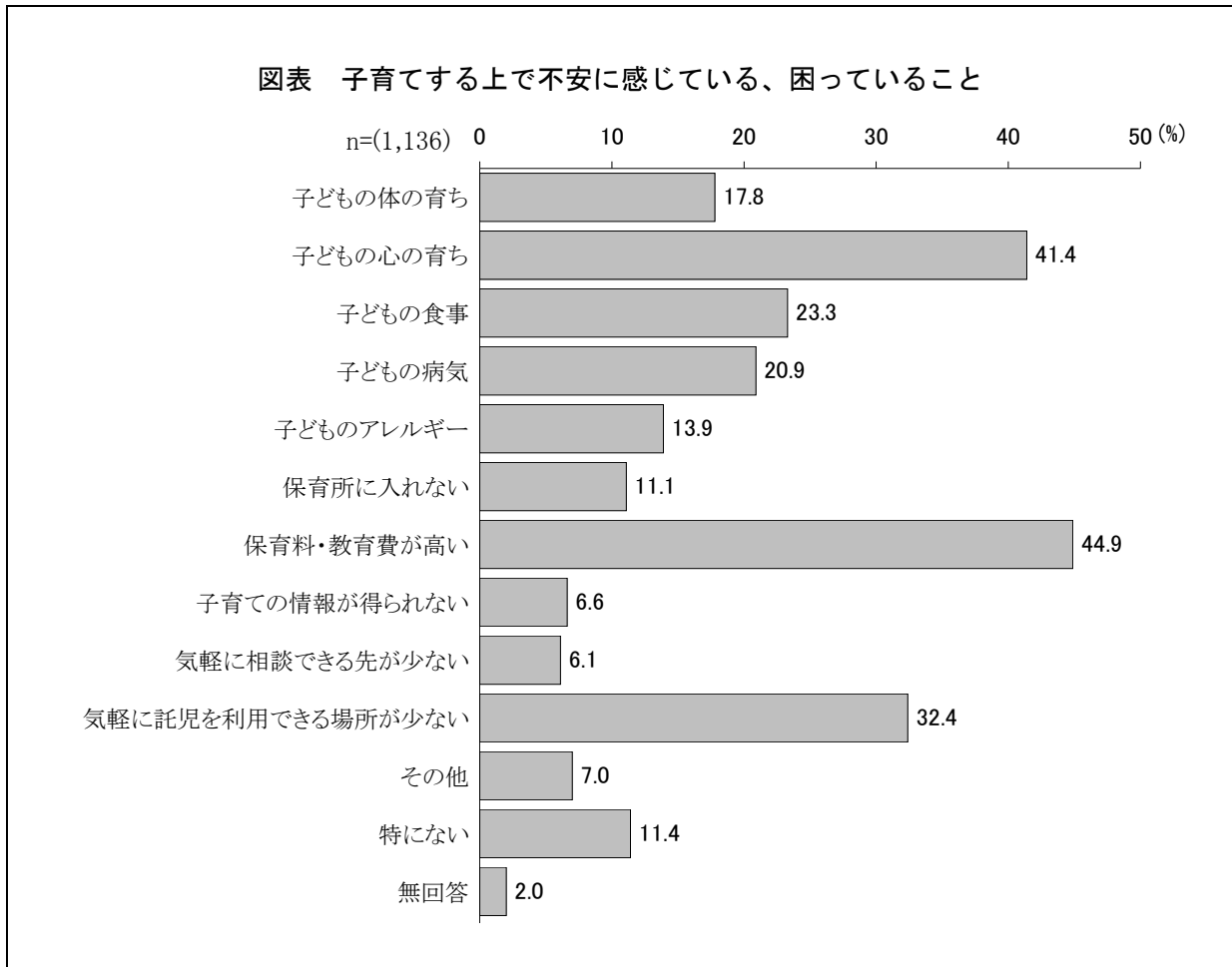
調査対象者	町内にお住まいの就学前のお子さん（平成19年4月2日以降生まれ）1,820名
調査方法	調査対象者に対して調査票を郵送配布し、郵送で回収。 葉書による督促を1回実施。
調査期間	調査票発送 平成25年11月7日（木） 調査票回収期限 平成25年11月30日（土）
調査内容	<ul style="list-style-type: none">・お住まいの地域について・子どもと家族の状況について・子どもの育ちをめぐる環境について・保護者の就労状況について・平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について・地域の子育て支援事業の利用状況について・土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について・子どもが病気の際の対応について・不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について・小学校就学後の放課後の過ごし方について・育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
調査票 回収状況	配布数 1,820件 有効回収数 1,136件（有効回収率 62.4%）

(2) 未就学児調査 主な調査結果

①子どもの育ちをめぐる環境について

【子育てする上で不安に感じている、困っていること】

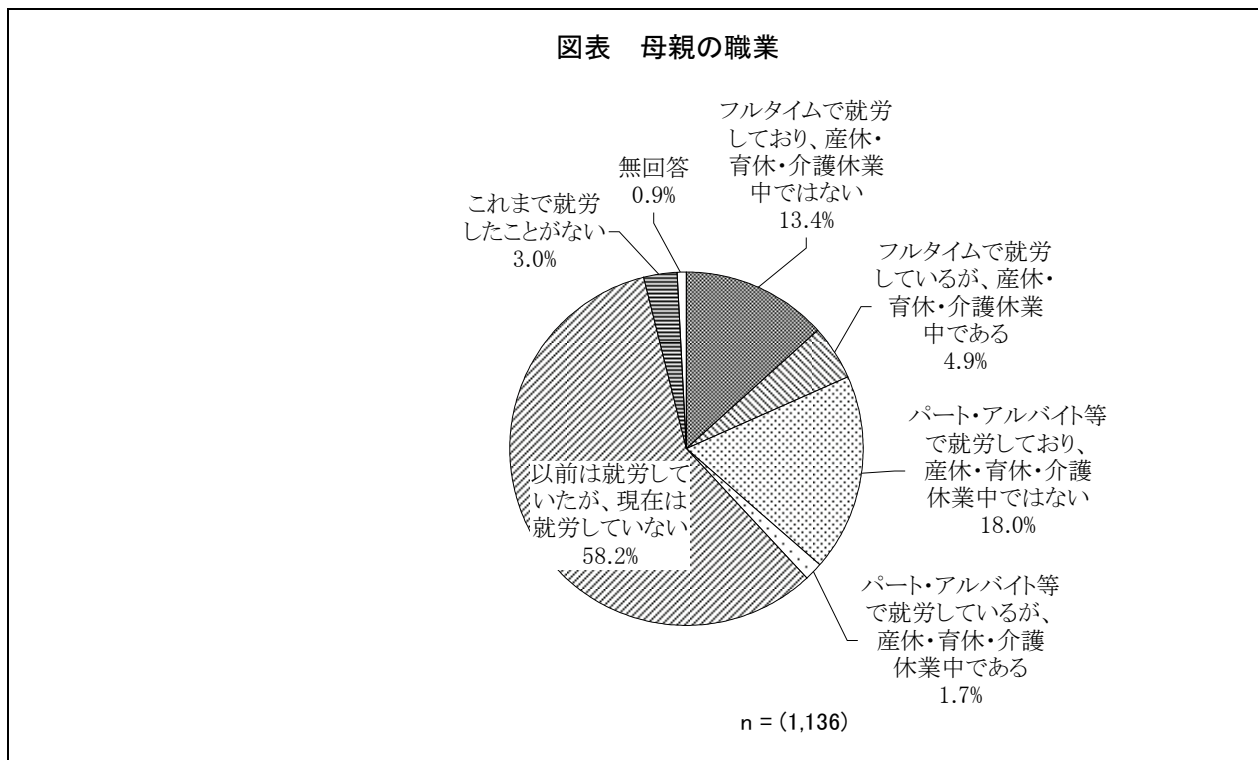
子育てする上で不安に感じていることや困っていることを複数回答でたずねたところ、「保育料・教育費が高い」(44.9%)と「子どもの心の育ち」(41.4%)が4割を超えて高くなっています。以下、「気軽に託児を利用できる場所が少ない」(32.4%)、「子どもの食事」(23.3%)、「子どもの病気」(20.9%)などと続いています。



②保護者の就労状況について

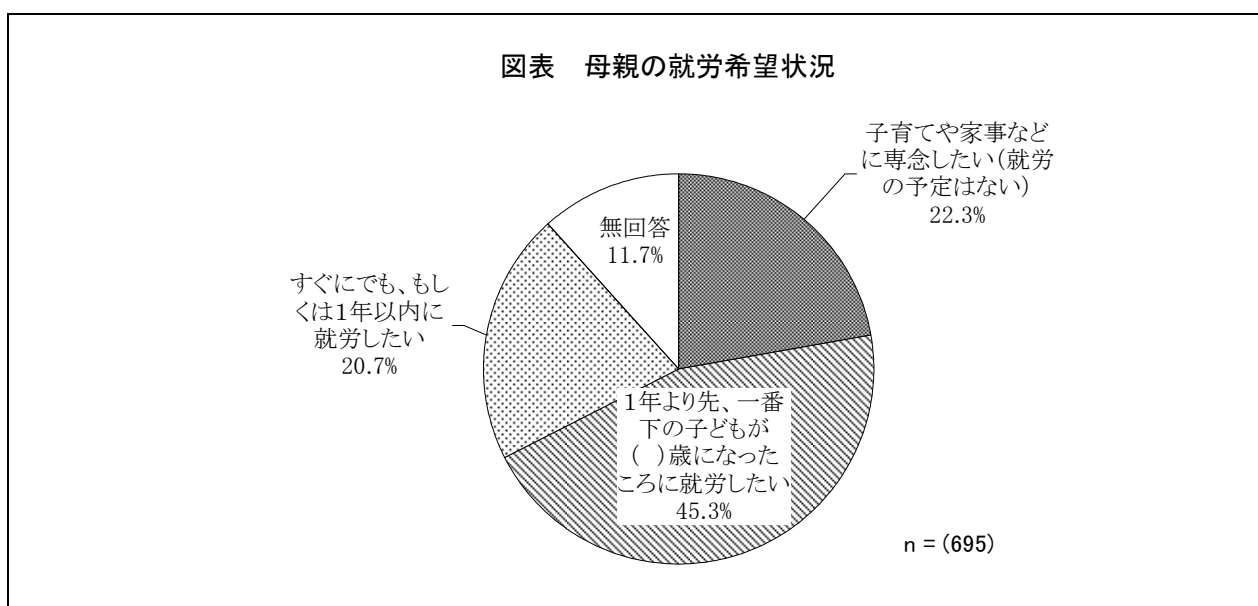
【母親の職業】

「以前は就労していたが、現在は就労していない」が58.2%を占め、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が18.0%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が13.4%となっています。



【母親の就労希望状況】

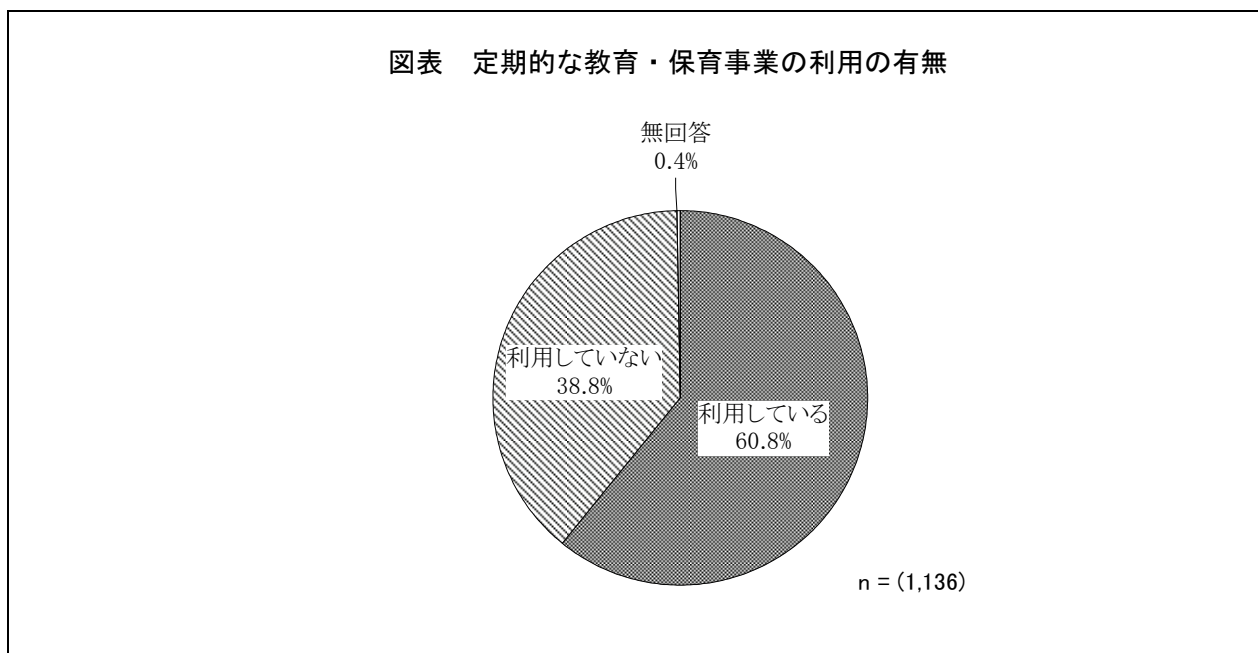
「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」が45.3%で最も多く、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が22.3%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が20.7%となっています。



③平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

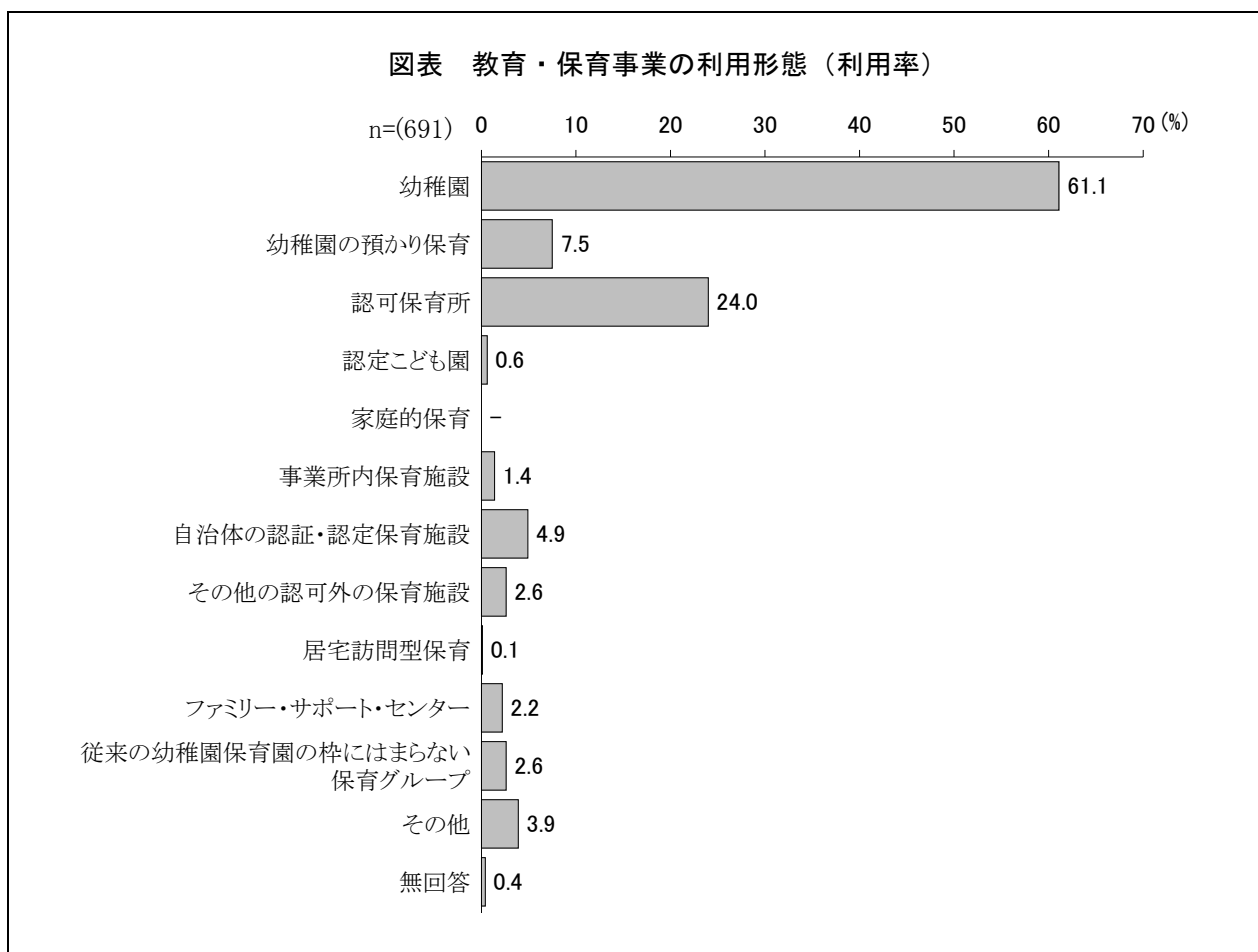
【定期的な教育・保育事業の利用の有無】

「利用している」は60.8%となっています。



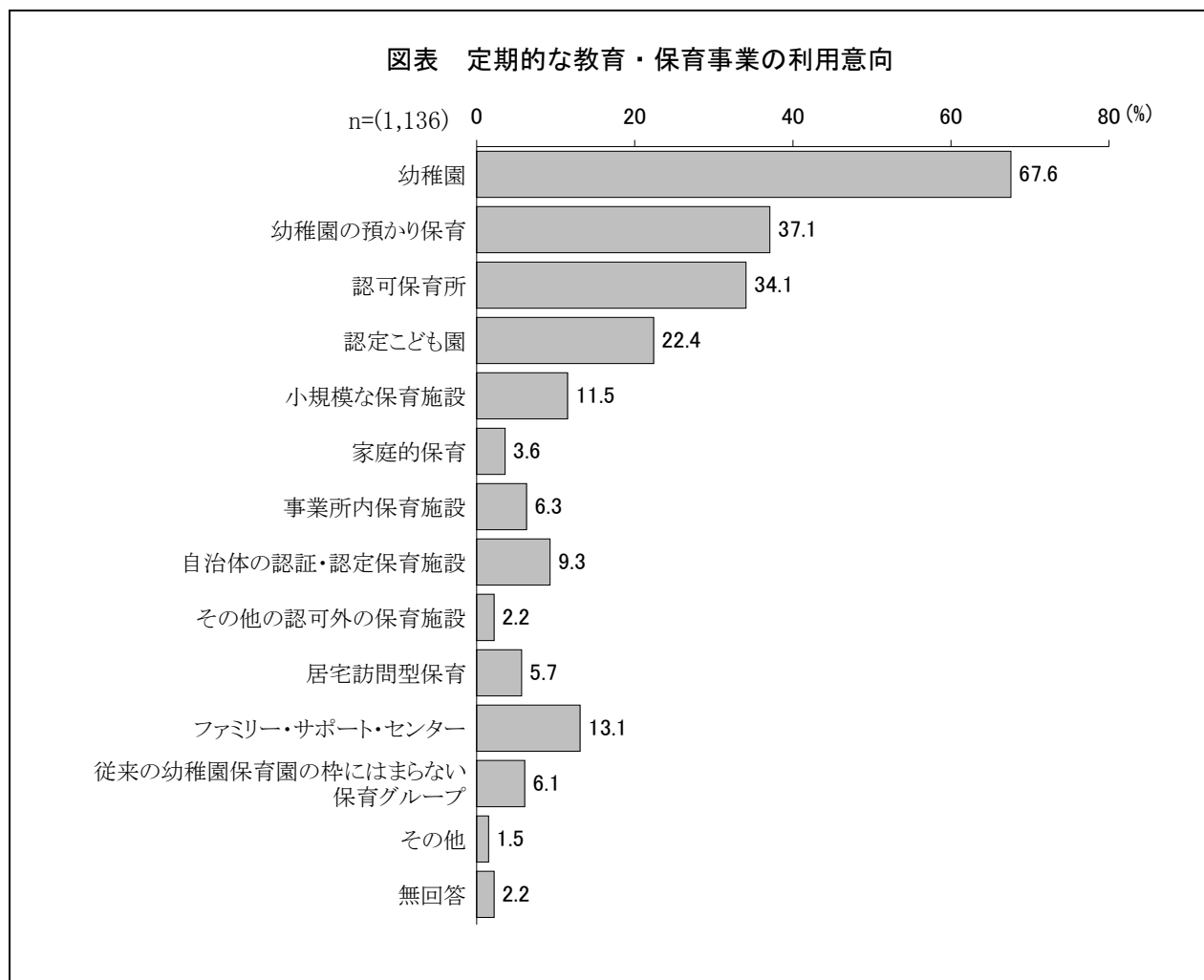
【教育・保育事業の利用形態（利用率）】

「幼稚園」が61.1%で最も高く、「認可保育所」が24.0%となっています。



【定期的な教育・保育事業の利用意向】

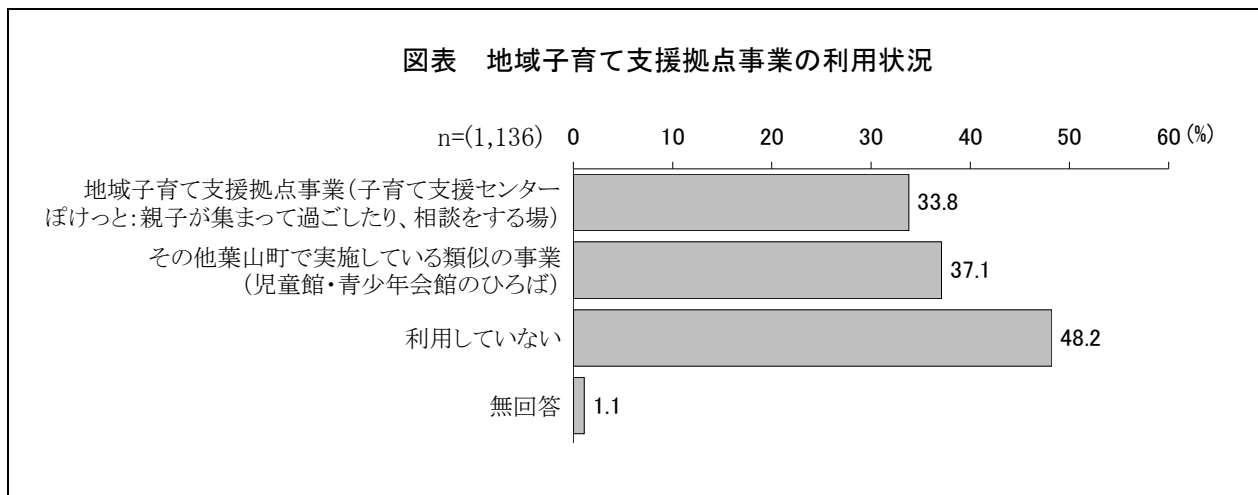
「幼稚園」が67.6%で最も高く、「幼稚園の預かり保育」が37.1%、「認可保育所」が34.1%、「認定こども園」が22.4%となっています。



④地域の子育て支援事業の利用状況について

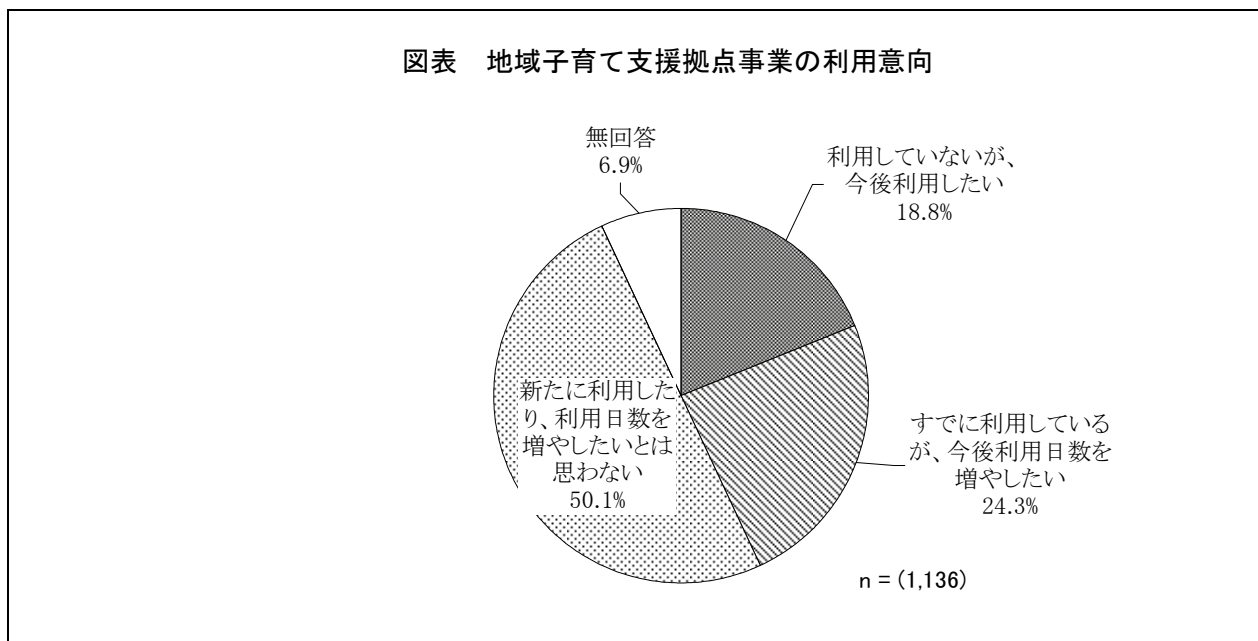
【地域子育て支援拠点事業の利用状況】

「利用していない」が48.2%、「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センターぽけっと：親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が33.8%、「その他葉山町で実施している類似の事業（児童館・青少年会館のひろば）」が37.1%となっています。



【地域子育て支援拠点事業の利用意向】

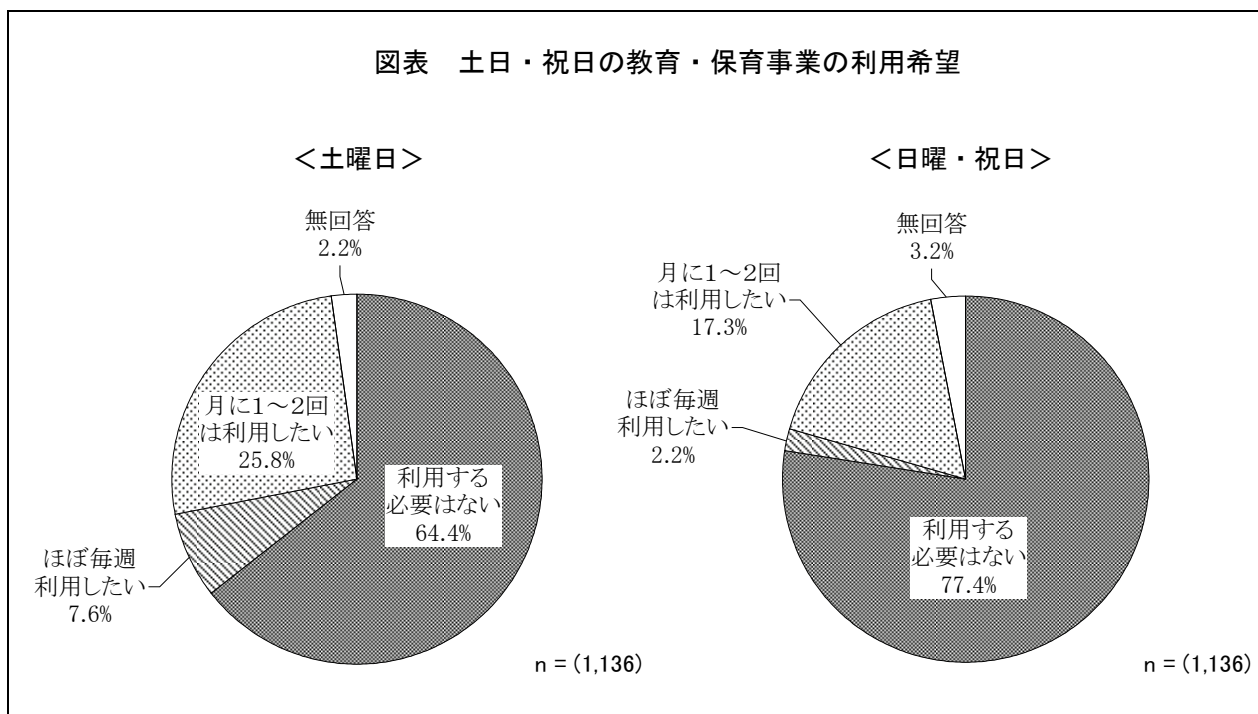
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が50.1%で、利用意向のある人は43.1%となっています。



⑤土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

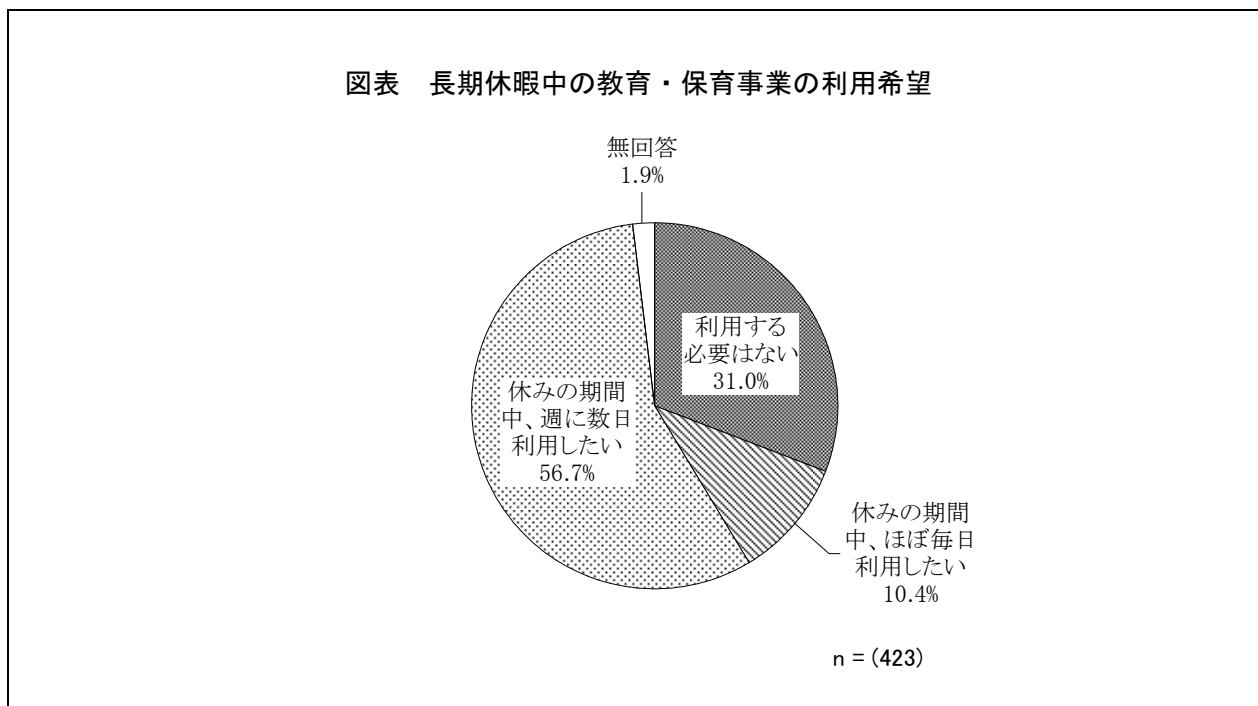
【土日・祝日の教育・保育事業の利用希望】

利用希望者は土曜日が33.4%、日曜・祝日が19.5%となっています。



【長期休暇中の教育・保育事業の利用希望】

利用希望者は67.1%となっています。

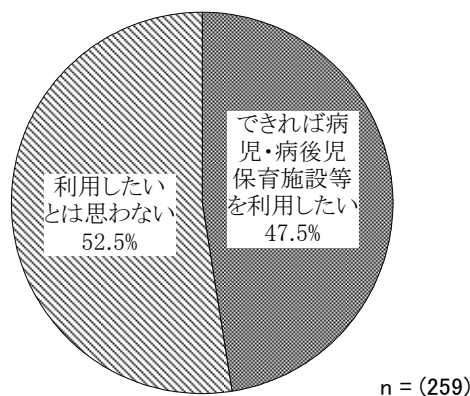


⑥子どもが病気の際の対応について

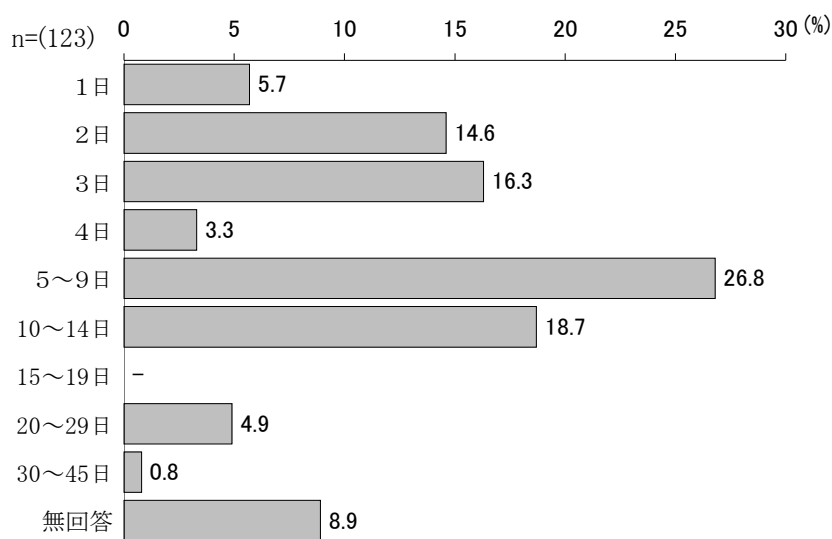
【病児・病後児保育の利用意向】

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は47.5%、利用希望日数は、年「5～9日」が26.8%で最も高く、平均は6.39日となっています。

図表 病児・病後児保育の利用意向

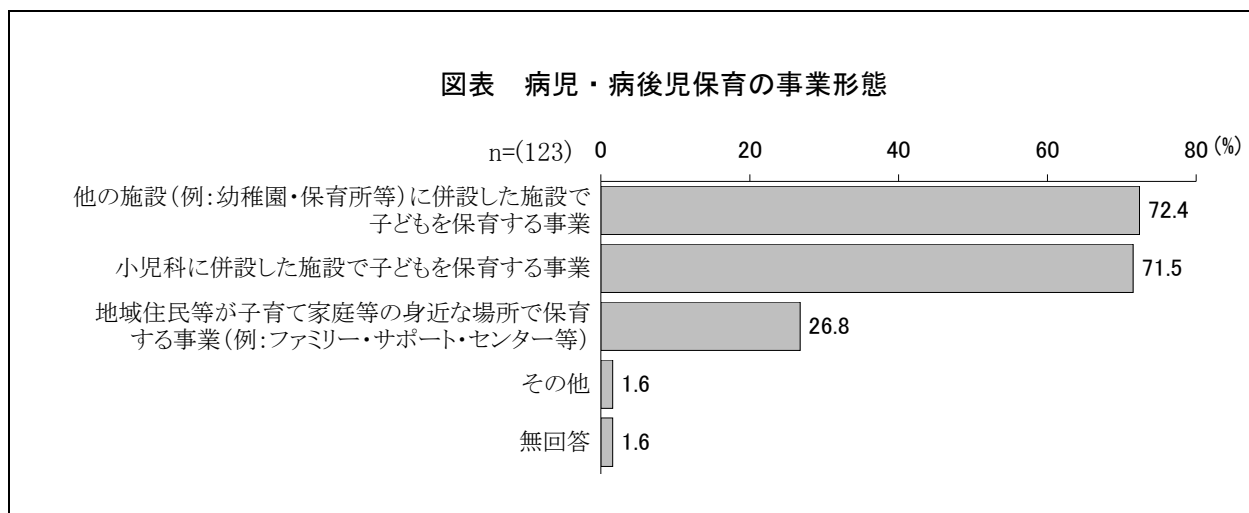


図表 病児・病後児保育の利用希望日数（年間）



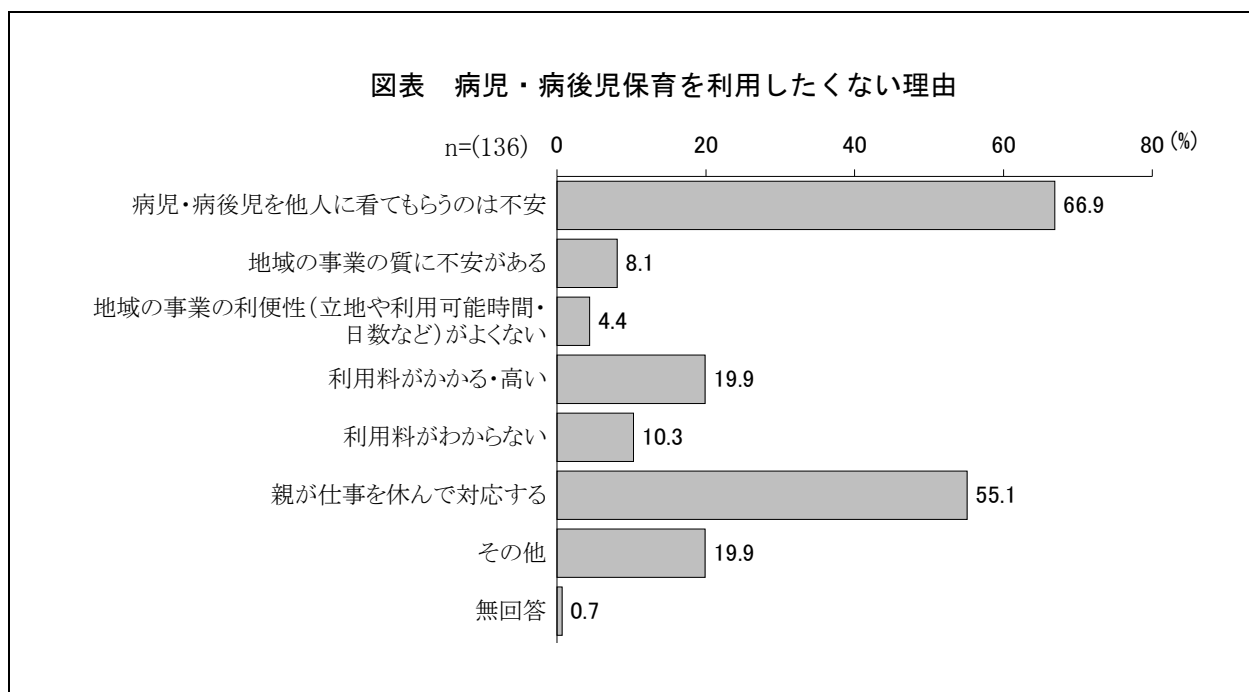
【病児・病後児保育の事業形態】

望ましいと思う事業形態について、「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（72.4%）と「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（71.5%）がいずれも7割を超えています。



【病児・病後児保育を利用したくない理由】

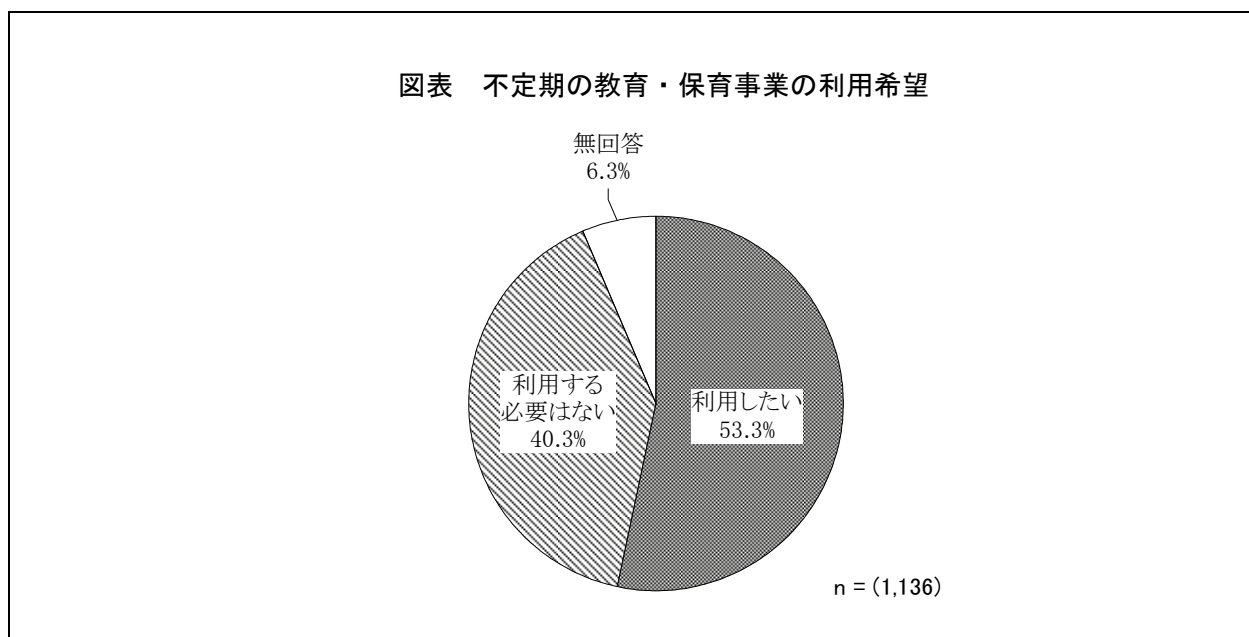
「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」（66.9%）が7割近くで最も高く、「親が仕事を休んで対応する」（55.1%）が過半数となっています。



⑦不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

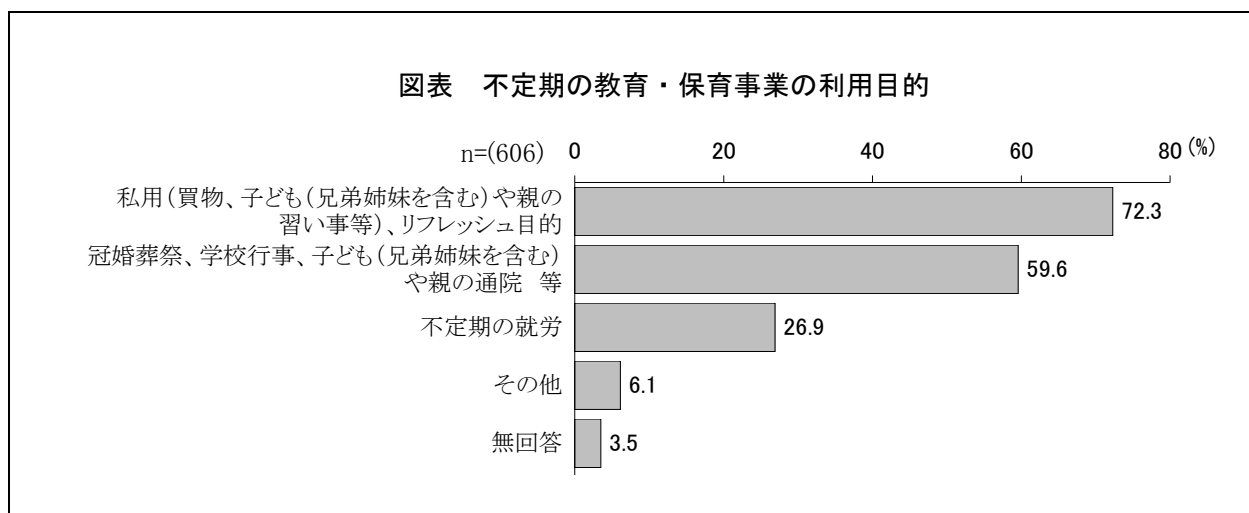
【不定期の教育・保育事業の利用希望】

「利用したい」(53.3%)が過半数を占めています。



【不定期の教育・保育事業の利用目的】

利用したい場合の利用目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」(72.3%)が7割以上で最も高く、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」(59.6%)が約6割などとなっています。

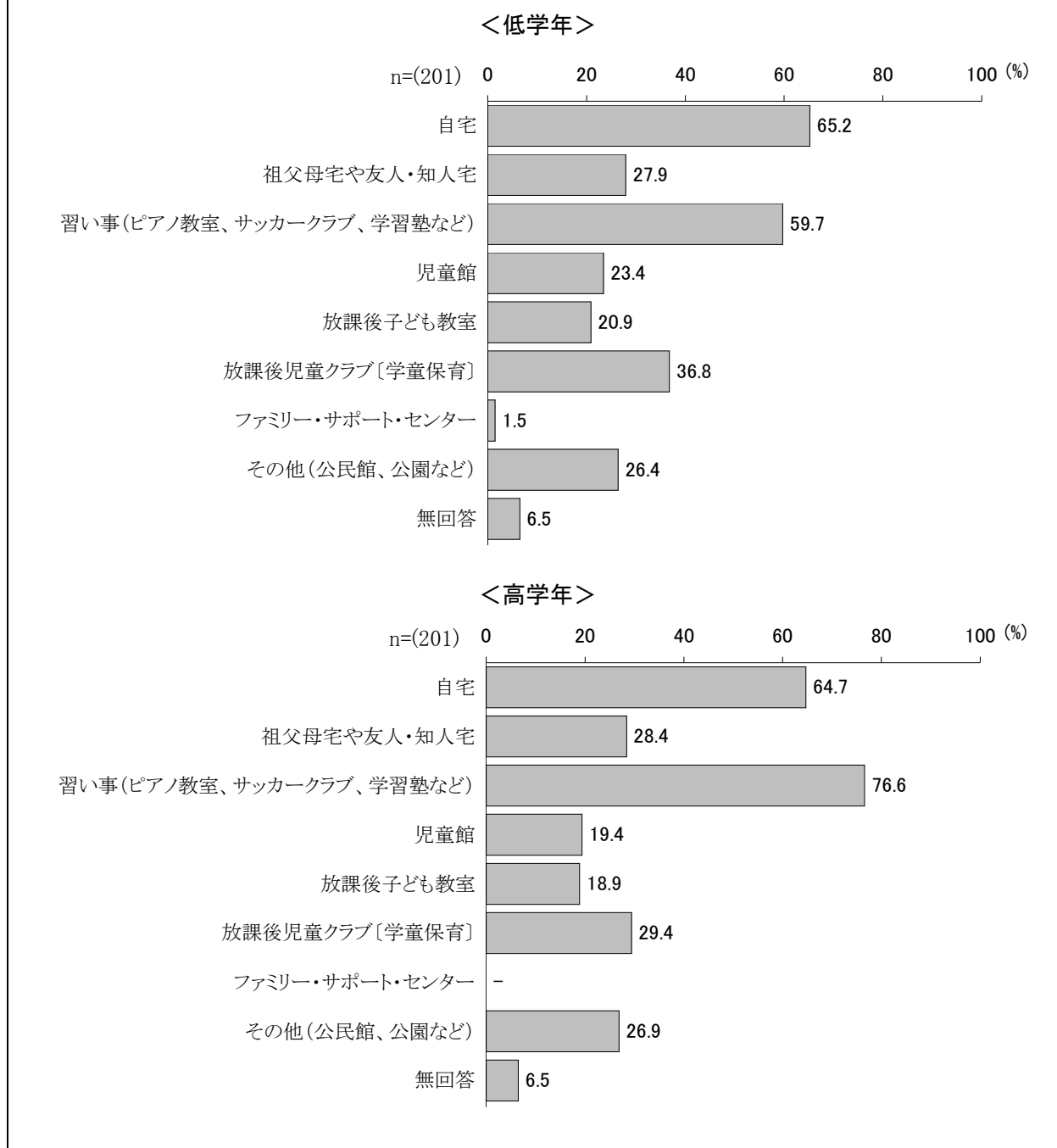


⑧小学校就学後の放課後の過ごし方について

【小学校就学後の放課後の過ごし方の希望】

「放課後児童クラブ〔学童保育〕」は低学年（36.8%）で4割弱、高学年（29.4%）で約3割、「放課後子ども教室」は低学年（20.9%）、高学年（18.9%）とも約2割となっています。

図表 小学校就学後の放課後の過ごし方（希望）

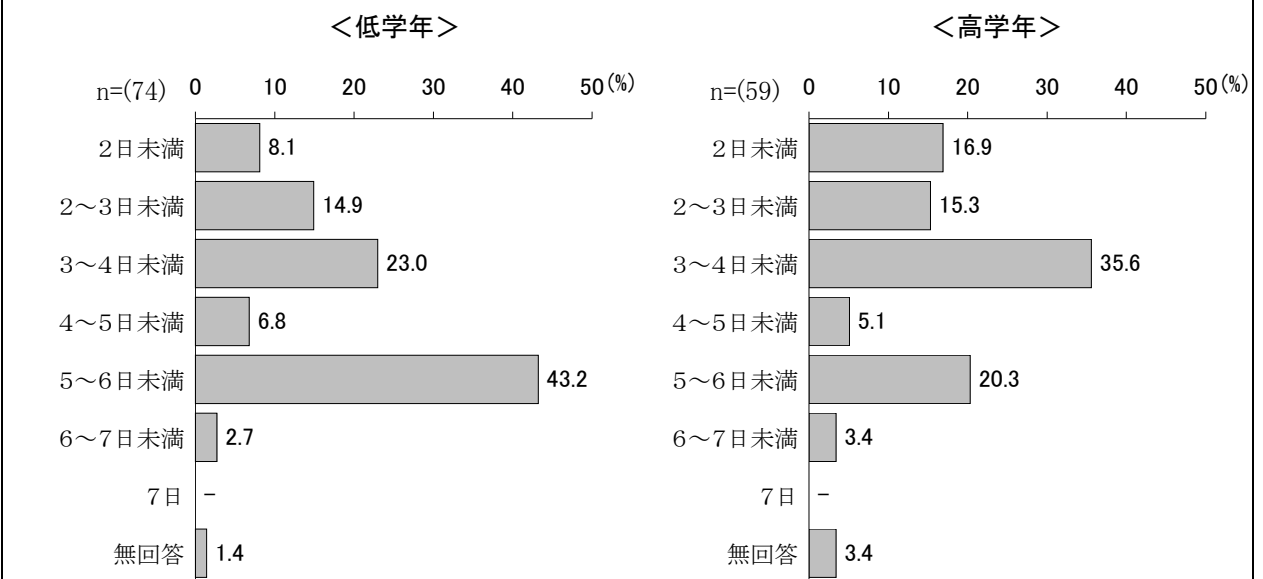


【放課後児童クラブの利用日数・時間】

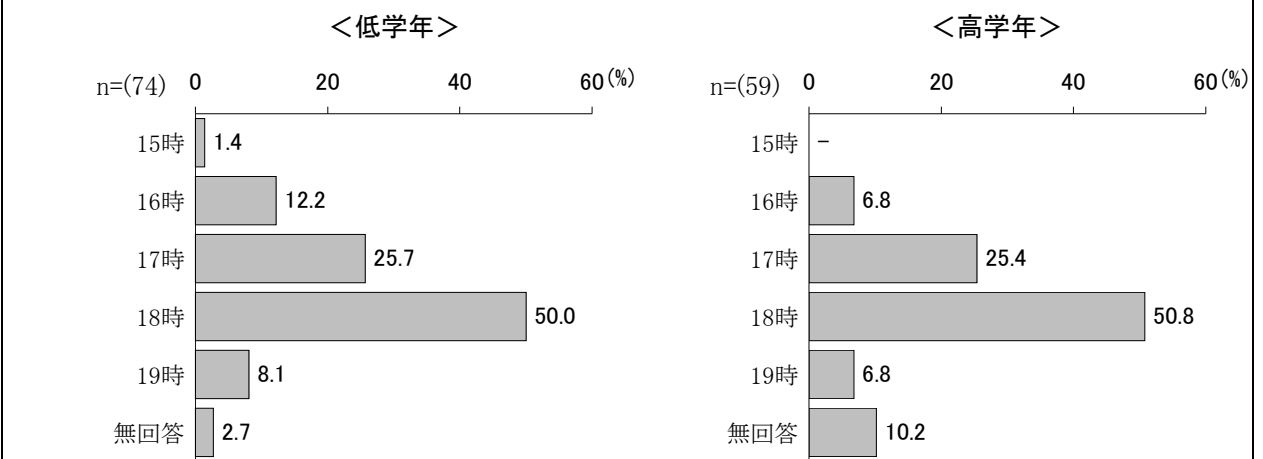
利用日数は、低学年では週「5～6日未満」(43.2%)が4割を超えて最も高く、高学年では「3～4日未満」(35.6%)が3割台半ばで最も高くなっています。平均日数は低学年が3.71日、高学年が3.07日となっています。

下校時から何時まで利用したいかは、低学年、高学年とも「18時」までが約半数で最も高くなっており、平均終了時刻は、低学年で17時31分、高学年で17時38分となっています。

図表 放課後児童クラブの利用希望日数（週）



図表 放課後児童クラブの利用希望時間（終了時刻）



(3) 小学生調査の概要

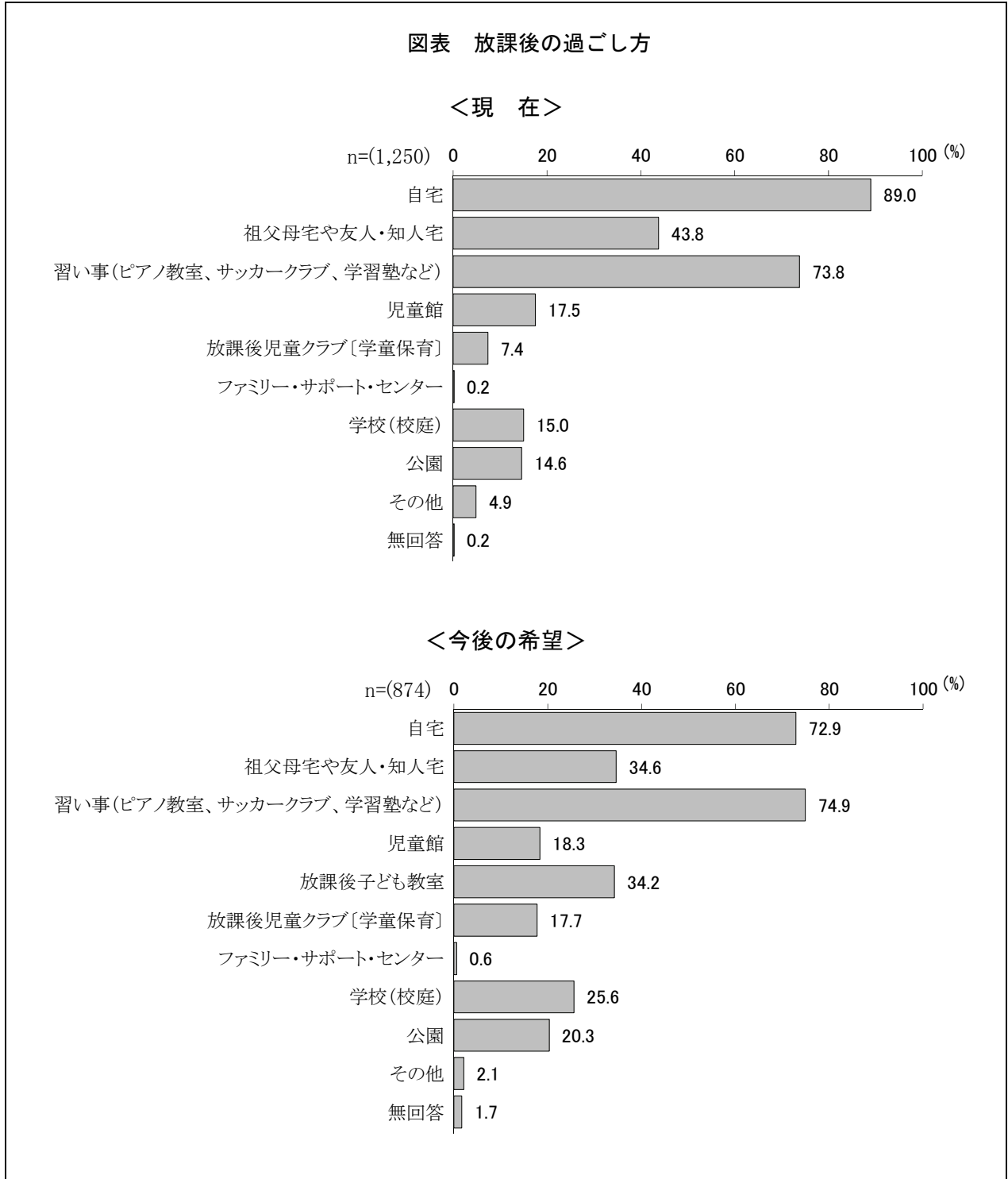
調査対象者	町内の小学校に通学している小学生 1,799名
調査方法	小学校を通じて調査票を配布し、小学校設置の回収ボックスで回収。
調査期間	調査票発送 平成26年1月20日(月) 調査票回収期限 平成26年1月31日(金)
調査内容	<ul style="list-style-type: none">・小学校、居住地について・子どもと家族の状況について・放課後の過ごし方について・放課後の過ごし方に関する支援策について
調査票 回収状況	配布数 1,799件 有効回収数 1,250件(有効回収率 69.5%)

(4) 小学生調査 主な調査結果

①放課後の過ごし方について

【放課後の過ごし方】

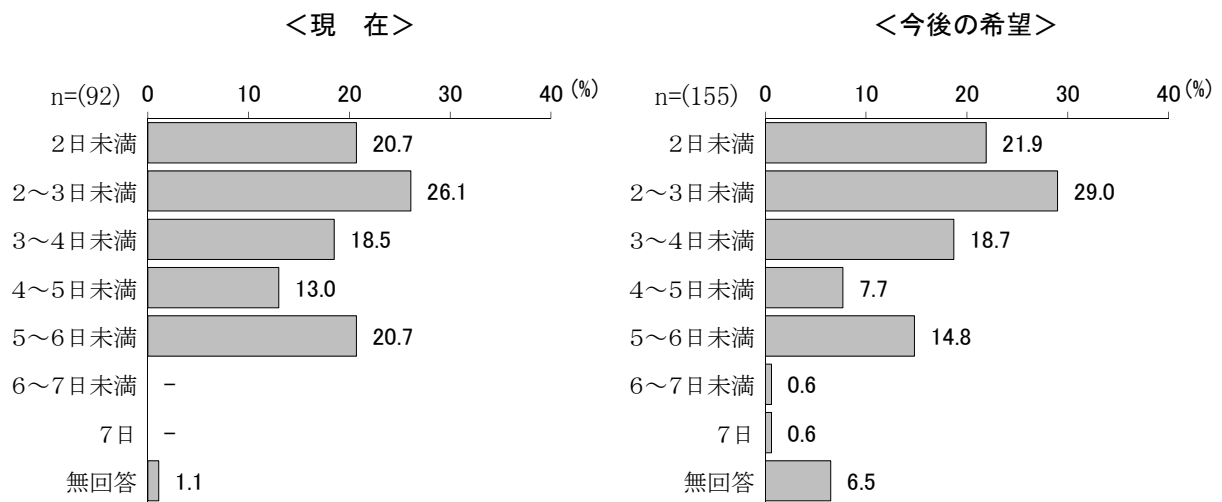
「放課後児童クラブ〔学童保育〕」は現在の利用者が7.4%、今後の希望が17.7%となっています。「放課後子ども教室」は34.2%が利用を希望しています。



【放課後児童クラブの利用日数・時間】

利用日数は現在、今後の希望ともに週「2～3日未満」が最も高く、平均日数は現在が2.89日、今後の希望が2.72日となっています。下校時から何時まで利用するかは、現在、今後の希望とも「17時台」と「18時」が高く、平均終了時刻は、現在は17時12分、今後の希望は17時26分となっています。

図表 放課後児童クラブの利用日数（週）



図表 放課後児童クラブの利用時間（終了時刻）

